

留学だより No.10

1. こんにちは

皆さんお久しぶりです。15期の亀田です。オーストラリア・ゴールドコーストから帰国して1か月半が経ちました。留学だよりの更新が遅くなってしまい申し訳ありません。

今回はクイズがないので前回の答え合わせを簡単にします。各食品の Health Star Rating はいくらかという問題でしたが、答えはミネラルウォーター: 5、Tim Tam: 0.5、トマトソース: 4、Shapes: 2、サワークリーム: 0.5、コカ・コーラ: 3.5 でした！
コーラが 3.5 あるのが意外でしたね。



さて、今回の留学だよりが最終回となりますが、帰国の様子や留学を振り返っていきます。最後まで読んでいただけたら幸いです。

2. 様々な人とお別れ

一年間、大変お世話になった方々にお別れと感謝を伝えてきました。学校で授業をしてくださった先生方やお世話になった先生方にはきちんとお礼をしてきました。特にインターナショナルコーディネーターの先生には日頃からサポートをしていただき、感謝しきれない気持ちです。また、私を含めて4人の留学生在が学校を離れるということでフェアウェルパーティーを開いていただきました。校長先生のポケットマネーでピザを大量に注文し、留学生を中心に楽しみました。

学校の友達ともお別れをしなければなりませんでした。お別れ会ということで、みんなで食事に行きました。キムチうどんのようなものを食べたのですが、あの味は忘れられません。

他にもホストマザーの同僚やフットボールクラブの方々など、お世話になった方々はたくさんいるのですが、長くなってしまうのでここでは割愛します。



3. 弾丸ブリスベン旅行

オーストラリアでやり残したことを考えた時に、ふと「ブリスベンに行っていないな」と思い日帰りの一人旅を決心しました。学校が終わってから帰国まで2週間程度のホリデーがあったのでその中の一日を利用しました。

ブリスベンゴールドコーストから電車で1時間ほどです。電車には乗ったことがなかったのが楽しみにしていました。想像していたよりはるかに快適で、新幹線のような静かさがあってとてもよかったです。

ブリスベンについては事前に調べておいた観光名所を回っていきました。それぞれの場所やどのように回るかの計画については何も考えていなかったのので、自由にブリスベン市街を散策しながら観光地を見つけたら寄っていくという感じです。行きたい場所は全て回れたのでよかったです。



特に印象に残っているのはブリスベンシティーホールで、現在も市庁舎として利用されている建物です。時計塔のガイド付きツアーをネットで予約していたので一層楽しむことができました。また、博物館も多かったのですが、特別展などを除き基本的に入場料が無料だったことにも驚きました。オーストラリアの自然に関する展示は無料で見ていいのかと思うほどのクオリティでした。オススメです。



4. 帰国準備

帰国をするにあたって様々な準備を行いました。ここではお土産の購入と荷物の送付について簡単に書こうと思います。

お土産はお菓子以外の品は少しずつ買い集めていたのですが、お菓子はなるべく直前に買ったかったので帰国3日前に購入しました。チョコ類は溶けてしまうので冷蔵庫に入れておいたのですが、ホストブラザーが1つ食べてしまうというアクシデントが発生したので、買い損ねたお菓子を追加で買うついでに補充しました。



一年で服や物など増えたものが多くあるので当然スーツケースにはすべては入りません。自宅に冬服やかさばるものを中心に段ボールに詰めて国際郵便で送りました。内容品の名前や価格を登録しないといけないのでその作業が面倒でしたが、何とか手続きを完了し日本に送ることができました。2回送ったのですが、それでも帰りのスーツケースの重さが29.3kgで、カンタス航空の制限である30.0kgギリギリでした。

5. ホストファミリーとのお別れ

私がこの一年で最もお世話になったのはやはりホストファミリーです。本当の家族のように接してくれ、本当にこのファミリーに巡り合えて幸せでした。私の第二の家族です。

しかし、ホストファミリーともお別れしなければなりません。手紙を書いてお礼を言って感謝を伝えました。

ファミリーの方からも、思い出の写真が入ったカレンダーとマグネットを頂きました。もらったときは様々な記憶が思い返されて涙が出てしまいました。帰国した今でもこの写

真を見ると当時の情景を鮮明に思い出します。心がこもったプレゼントを頂いて本当にうれしかったです。今回の出会いを一生大切にしたいと思いました。

6. 次世代の研修、そして帰国

家の近くから車でピックアップされ、次世代の研修に参加するためにブリスベンへ向かいました。ゴールドコーストに滞在していたもう一人の研修生と思い出話をしているとあっという間にブリスベンにつきました。オーストラリアに到着したときと同じ宿舎に戻ったときはなんだか懐かしい気分がしました。また、一年ぶりにほかの研修生たちや東京都の先生と会い、うれしかったのですが、本当に日本に帰ることを実感して複雑な気持ちになったことを今でも覚えています。研修ではこの留学で学んだことを振り返りそれぞれ発表しました。各研修生それぞれの充実した留学生活を知ることができてよい刺激になりました。また、UQ(The University of Queensland)のキャンパスツアーがありました。東京ドーム24個分の広大な敷地はもちろん、充実した建物や設備は圧巻でした。

2日間の研修が終わった後、ついに帰国となりました。空港やフライト中のトラブルもなく、滞りなく日本に戻りました。成田空港で家族と合流し、私のオーストラリア留学は終わりとなりました。



7. 最後に

今まで全10回の留学だよりを読んでいただきありがとうございました。今まで自分が書いた留学だよりを見返していたのですが、一年間さまざまなことを経験し人間的に一回りも二回りも大きくなった気がします。この貴重な経験を生かしてこれからも努力していきます。

不自由なく素晴らしい一年間を過ごすことができ、私は恵まれているなと留学だよりを書いているときはいつも感じていました。すべては私を快く受け入れてくれたホストファミリー、学校での生活を支えてくれた先生方や現地の友人たち、その他、私によくしてくれたたくさんの方々、元気でやって帰ってこいと送り出してくれた日本の友人たち、そして留学をしたいという私の願いを受け入れ、常に応援してくれた家族のおかげです。すべての方への感謝をもって私の留学だよりの終わりとしします。一年間ありがとうございました。



次世代リーダー育成道場を先日修了しました